

2020年～2024年

地域でつながる 朱い架け橋
安全・安心で愛ある街・西戸畑

住民発！西戸畑地区 小地域福祉活動第一次計画



ごあいさつ

「地域でつながる 朱い架け橋 安全・安心で愛ある街・西戸畑」 住民発！西戸畑地区 小地域福祉活動第一次計画策定にあたり

西戸畑地区社会福祉協議会では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現をめざし、地域住民や社会福祉関係者等が協力して地域の福祉活動を進めています。

また、平成7年度より「ふれあいネットワーク活動」を開始し、“自分たちの地域の福祉課題は自分たちで解決していく”という目的のもと「見守り・助け合い・話し合い」の3つのしくみを中心に、様々な小地域福祉活動を展開してきました。

昨今の急速な少子高齢社会の進展のなかで、地域においては家族機能の低下や、つながりや支え合い機能の脆弱化がすすみ、深刻な課題を抱えたまま地域で孤立した生活を送っている世帯も増えています。

このような情勢のなか、国においては、社会福祉諸制度の改正や、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現など、地域福祉に重点が置かれた取り組みが進められようとしています。

西戸畑地区においても様々な福祉課題が発生しており、これからも地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う団体が課題を共有し、その課題の解決に向けて、話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。

そこで、北九州市の地域福祉計画及び北九州市社会福祉協議会の地域福祉活動第五次計画と整合性をもちながら、小地域での中長期の活動計画を策定し、段階的な取り組みを進めていく必要があります。

この小地域福祉活動計画の推進により、若戸大橋とともに育ち、はぐくんできた郷土愛をこの西戸畑から発信していきます。

おわりに、この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びに、ご意見をいただきました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

令和2年3月

西戸畑地区社会福祉協議会 会長

西戸畑地区小地域福祉活動計画策定委員会 委員長

久門英二



「地域でつながる 朱い架け橋 安全・安心で愛ある街・西戸畑」

住民発!西戸畑地区 小地域福祉活動第一次計画

(2020年～2024年)

目 次

ごあいさつ	1
第1章 計画策定にあたって	3
1 計画の性格		
2 計画の期間		
3 計画の策定経過		
第2章 西戸畑地区の現状と取り組み	4
1 西戸畑地区の特徴		
2 第一次計画の点検・評価		
第3章 第一次計画の体系	5
1 基本理念		
2 基本目標		
3 実施項目（体系図）		
4 重点実施項目		
第4章 計画の推進	9
1 計画の承認と周知		
2 計画を推進するための体制		
3 第三次計画の策定		
4 推進委員会（策定委員会）委員名簿		
参考資料	11
策定委員会及び役員会での協議事項		



第1章 計画策定にあたって

1 計画の特性

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、西戸畑地区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、西戸畑地区に住む人たちの「安全・安心な生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会、戸畑区事務所と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会、戸畑区事務所の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 西戸畑地区社協の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

第一次計画は、2020年から2024年までの5ヵ年とします。

ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

第一次計画策定委員会や、西戸畑地区で地域福祉活動に取り組む関係機関・団体からの幅広い意見などを踏まえて、住民主体の地域福祉に関する計画を策定するため、小地域福祉活動第一次計画策定委員会を設置しました。





第2章 西戸畑地区の現状と取り組み

1 西戸畑地区の特徴

(1) 地域の特徴

西戸畑地区は、戸畑区の北西に位置し、洞海湾に面しています。明治の終わり頃、最初に工場が立ち並び、かつては大型貨物船や、トロール船、魚類運搬船の出入りで賑わったと言われ、現在では戸畑と若松を結ぶ若戸渡船が洞海湾を往来しています。また、文化面においても、戸畑の文化発祥の地と言われています。若戸大橋の橋台下から大橋を望むことができる西戸畑地区。



2019年、若戸大橋の無料化に伴い、夜間にはライトアップされるようになり新しい北九州の観光拠点として再び注目を集めています。

(2) 人口・世帯数・高齢化率 北九州市の人口(町別)より 2019年(令和元年)9月30日現在

項目／年	平成16年	平成26年	令和元年
人口	4,155人	4,219人	4,155人
14歳以下	429人	540人	427人
65歳以上	1,034人	1,068人	1,158人
世帯数	2,213世帯	2,215世帯	2,308世帯
高齢化率	24.9%	25.3%	27.9%

(3) 社会資源

小学校	戸畑中央小学校
中学校	飛幡中学校
福祉施設	社会福祉法人北九州身体障害者福祉事業協会、とりはた玄海園生活支援センター・就労センター、共愛会 明治町デイサービスセンター、明治町あやめレンタルサービス、あやめ在宅ケアセンター、老人保健施設 しんわ苑、ケアプランセンター よつ葉、リハビリ特化型デイサービス C-ROAD
医療機関	社会福祉法人共愛会 明治町クリニック、野田内科循環器科クリニック、しらいし耳鼻咽喉科クリニック、田中歯科医院、タケハラ薬局



第3章 第一次計画の体系

1 基本理念

「地域でつながる 朱い架け橋 安全・安心で愛ある街・西戸畑」

西戸畑地区では、子どもから高齢者まで、また、障害のあるなしに関わらず、誰もが住みなれたところで安心して安全に暮らしていけるまちにしたいと願っています。

そこで、地域の特性を踏まえ、住民の皆さんの理解と参画を得ながら、地域団体や関係機関との連携のもと、「地域でつながる 朱い架け橋 安全・安心で愛ある街・西戸畑」を基本理念として、小地域福祉活動第一次計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 基本目標1 「地域福祉の活動力を高めよう」

「西戸畑社協だより」の発行とチラシなどの充実を図り、センター文化祭など様々な行事で、福祉協力員の活動のPR強化を行い、次世代福祉活動者の人材確保を目指すとともに、地域福祉活動への理解促進を図り、地域の活動力を高めます。

また、地域の声に不安なく対応できるように、障害や認知症について学ぶ場を設け、繋ぐ関係機関との連携を強めます。

(2) 基本目標2 「地域のつながり力を深めよう」

高齢者が気軽に集える居場所として開設したサロンの効果的な広報の充実を図り、参加者の増員を目指すとともに、2025年に向けさらに、生きがい・健康づくり、介護予防を進めていきます。

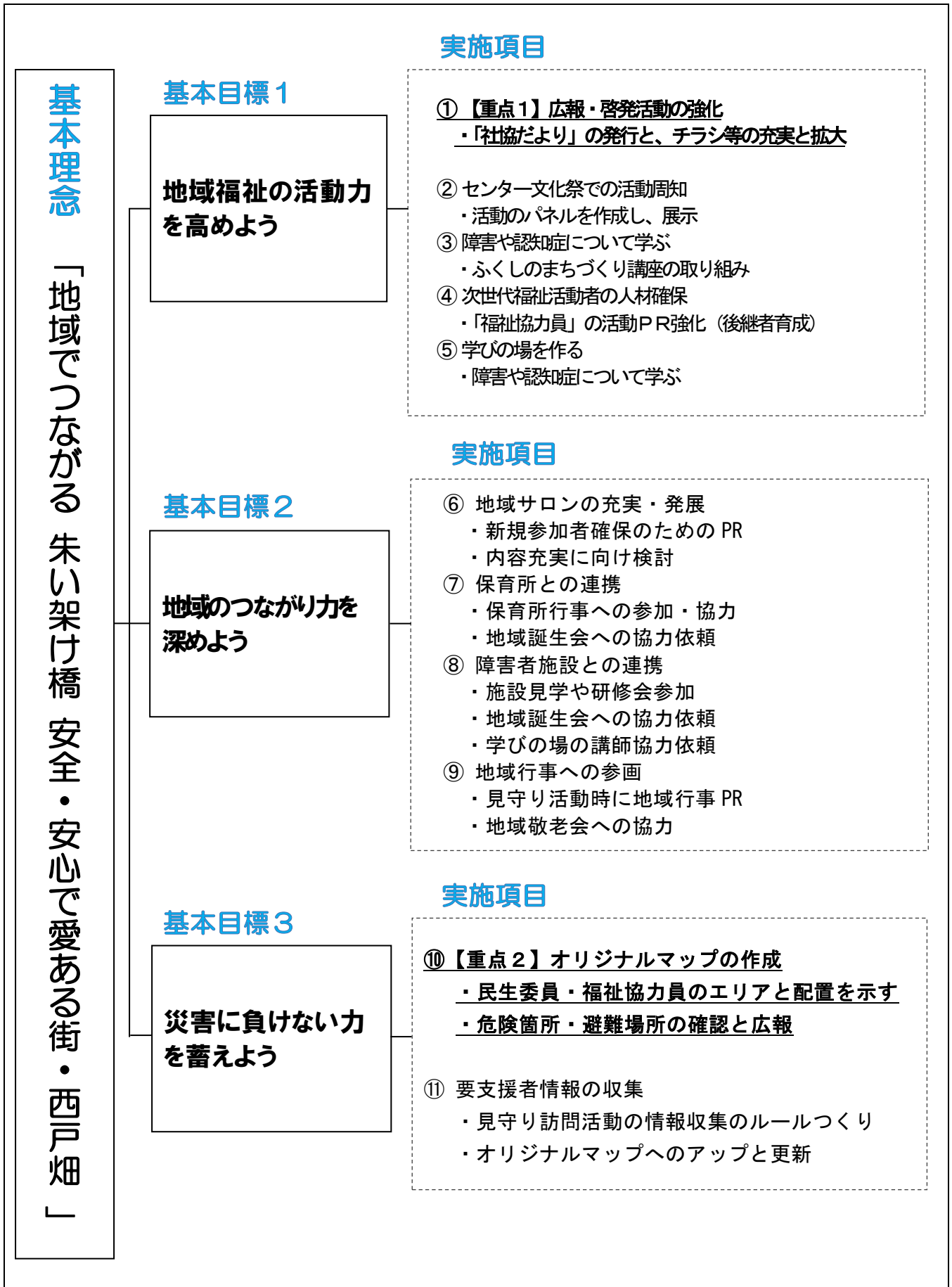
また、保育所や障害者施設との連携を深め、Win-Winな関係で地域の活性化を図ります。地域行事への参加者を増やすため、見守り訪問活動時に案内することで、顔の見える強い信頼関係を作っていきます。

(3) 基本目標3 「災害に負けない力を蓄えよう」

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、困りごとを相談できる民生委員や福祉協力員の所在を明確にします。また、危険箇所を点検したり、避難場所を確認したりして、安全に暮らせるためのオリジナルマップを作成します。

定期的にマップを更新、掲示場所の拡大を行い、地域住民への周知を行いたい。

3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目 1 「広報・啓発活動の強化」

重点に選定した理由

認知症高齢者や障害者など課題を抱える人が増え、支援を必要としている人を地域全体で支えていくために、地域福祉活動の理解促進をすすめていく必要がある。
支える福祉協力員も高齢化しており、新たな担い手確保が急務である。

第一次計画での活動方針

「社協だより」や様々な行事を通して、福祉協力員の活動のPR強化を行い、顔の見えるネットワークを拡充する。
わかりやすい地域福祉活動を推進し、福祉協力員の増員を図り、地域の活動力を高める。

5年後の達成目標

自分たちの活動を住民にわかりやすく伝え、知ってもらい、身近に感じてもらうことで協力者を増やし、地域全体での見守り体制を強化する。
また、若い世代の活動者を増やし、新しいアイデアや行動力でみんなで楽しく活動をつないでいく。

【重点実施項目における段階的な取り組みの年次計画】

	主な取り組み内容	2020	2021	2022	2023	2024
①	「社協だより」の発行 ・見てもらう紙面の工夫 ・福祉協力員のPRと募集、社協活動のPR	計画	実施	見直し		
②	誕生会やバスハイクの案内状配付について ・紙面づくりの工夫 ・配付先の拡充					
③	配付や掲示先の確保 ・マンションなどの掲示版への働きかけ ・病院や薬局への設置 ・配付状況の集約					

【取り組みを進めるにあたり連携・協力する団体・関係機関】

まちづくり協議会、民生委員児童委員協議会、自治会、老人クラブ、社会福祉施設、病院、薬局、保育所、小学校、中学校、市民センター、区役所、区社協

重点実施項目2 「オリジナルマップの作成」

重点に選定した理由

支援を必要としている人の声を拾えない、支援をしてほしいと言わない人も増えている。福祉協力員の適正配置ができていないのではないかと。

また、災害時に対応できる協力体制や情報（危険箇所や避難場所など）を伝えきれていない。

第一次計画の活動の方針

民生委員や福祉協力員のエリアと配置を地図に示し、見守り世帯や支援を必要としている世帯と地図上で繋ぐ。危険箇所や避難場所なども示し、緊急時の対応についても考えていく。

5年後の達成目標

ひとり暮らしの高齢者等支援を必要とする人、福祉協力員や民生委員などの活動者や協力者、社会資源などの所在を明らかにし、年に一度更新を行い、情報を更新していく。

それにより、ふれあいネットワーク活動の充実・強化を図れるマップとしていく。

【重点実施項目における段階的な取り組みの年次計画】

	主な取り組み内容	2020	2021	2022	2023	2024
①	マップについて学び、考える ・作成の手順や情報 ・保管や周知方法 ・参加者の役割分担	→				
②	情報の収集 ・一人暮らし高齢者や支援を必要とする人を把握する ・危険箇所や災害時の避難場所を確認する	→				
③	マップの作成と定期的な更新 ・対象者の情報共有と活用 ・福祉協力員の適正配置に向けた働きかけの継続		→			

【取り組みを進めるにあたり連携・協力する団体・関係機関】

まちづくり協議会、民生委員児童委員協議会、自治会、老人クラブ、市民センター、小学校、中学校、区役所、区社協



第5章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- (1) 西戸畑地区社会福祉協議会の総会等を通じ、活動者への計画の承認と周知を行います。
 - (2) 計画の実施項目を進めていくため、関係機関・団体への周知・協力依頼を行います。
 - (3) 計画書概要版の配布や、西戸畑社協だより、ホームページへの掲載等を通じ、地域住民への周知を行います。
- その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動第一次計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、西戸畑地区小地域福祉活動第一次計画推進委員会（以下、「推進委員会」という。）を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

などについて、推進委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理（推進委員会の開催）

推進委員会を適宜開催し、次の点について確認します。

- ① 事業推進の計画・実行
- ② 事業推進の進捗状況の確認

その他、必要に応じて開催することもあります。



(3) 計画の評価

計画の中間年では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に、新たに第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けての協議を進めていく予定です。

4 小地域福祉活動第一次計画推進委員会(策定委員会)名簿

No.	氏名	所属団体・役職など
1	久門 英二	地区社会福祉協議会 会長
2	吉川 加代子	地区社会福祉協議会 副会長、地区民生委員児童委員協議会 会長
3	甲斐 清子	地区社会福祉協議会 監事・理事
4	出水 信恵	地区社会福祉協議会 理事、民生委員・児童委員
5	織田 知子	福祉協力員
6	白澤 サトミ	福祉協力員
7	東 由美	福祉協力員
8	笹山 勝栄	福祉協力員
9	波多野 征子	福祉協力員
10	末次 繁行	地区社会福祉協議会 理事、地区民生委員児童委員協議会 副会長
11	三崎 昌子	福祉協力員
12	石田 トシ子	福祉協力員
13	佐内 由美子	地区社会福祉協議会 会計・理事、民生委員・児童委員
14	原口 和生	地区社会福祉協議会 理事、民生委員・児童委員
15	田中 秀子	福祉協力員
16	藤井 正枝	福祉協力員
17	今泉 孝子	福祉協力員
18	今井 節子	福祉協力員
19	吉田 恵美	福祉協力員
20	中畑 豊子	福祉協力員
21	齋藤 公子	福祉協力員
22	西郷里 寿美子	福祉協力員
23	小松 洋子	福祉協力員
24	三隅 時子	福祉協力員
25	野田 武彦	野田内科循環器科クリニック 院長
26	倉石 恵利子	タケハラ薬局 薬剤師
27	藤井 功石	(社福)北九州身体障害者福祉事業協会 とりはた玄海園生活支援センター
28	岩藤 さつき	北九州市立西戸畑保育所
29	遠藤 隆一	西戸畑市民センター 館長
30	追木 正次	戸畑区役所 保健福祉課 課長
31	花田 昌幸	戸畑区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
32	甲斐 未希	戸畑区役所 保健福祉課 地域包括支援センター戸畑1 保健師
33	川原 正明	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 事務所長

【参考資料】 策定委員会及び役員会での協議事項

回	開催日	人数	主な協議事項
1	令和元年 5月17日	5	役員会（第1回） ①策定委員会について（候補者の選出、開催予定） ②策定委員会で行うことの整理
2	令和元年 6月19日～21日	8	策定委員候補へ、就任に向け趣旨説明訪問
3	令和元年 7月10日	4	役員会（第2回） ①委員候補者について ②委員会の進め方について
4	令和元年 8月21日	4	第1回策定委員会の事前打ち合わせ
3	令和元年 8月22日	24	第1回小地域福祉活動第一次計画策定委員会 ①小地域福活動計画とは ②策定委員、委員会開催について ③これまでの取り組みを体系的に整理
4	令和元年 9月25日	4	第2回策定委員会の事前打ち合わせ
5	令和元年 9月26日	23	第2回小地域福祉活動第一次計画策定委員会 ①第1回委員会のふりかえり ②地域の福祉課題の洗い出し・整理 ③第一次計画の策定Ⅰ（目標設定）
6	令和元年 10月23日	3	第3回策定委員会の事前打ち合わせ
7	令和元年 10月25日	19	第3回小地域福祉活動第一次計画策定委員会 ①第2回委員会のふりかえり ②第一次計画の策定Ⅱ（実施項目の整理）
8	令和元年 11月27日	3	第4回策定委員会の事前打ち合わせ
9	令和元年 11月28日	21	第4回小地域福祉活動第一次計画策定委員会 ①第3回委員会のふりかえり ②第一次計画の策定Ⅲ （重点実施項目の段階的な取り組み）
11	令和2年 1月14日	3	役員会（第3回） ①概要版の最終校正 ②概要版の印刷・発行及び周知広報



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit voaurus)

Petit (プチ:ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

「ちっちゃなボランティア活動を行う愛くるしい恐竜」をイメージ!



西戸畑地区社会福祉協議会

〒804-0074 北九州市戸畑区南鳥旗町 3-17 西戸畑市民センター内
TEL・FAX 093-881-2330

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/tobata/nisitobata/>

西戸畑地区社協



戸畑区社会福祉協議会

〒804-8510 北九州市戸畑区千防 1 丁目 1-1 戸畑区役所 3 階
TEL 093-871-3259 FAX 093-881-8557

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/tobata/>

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 8 階
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>